

平成20年度 平和学習発表会の様子



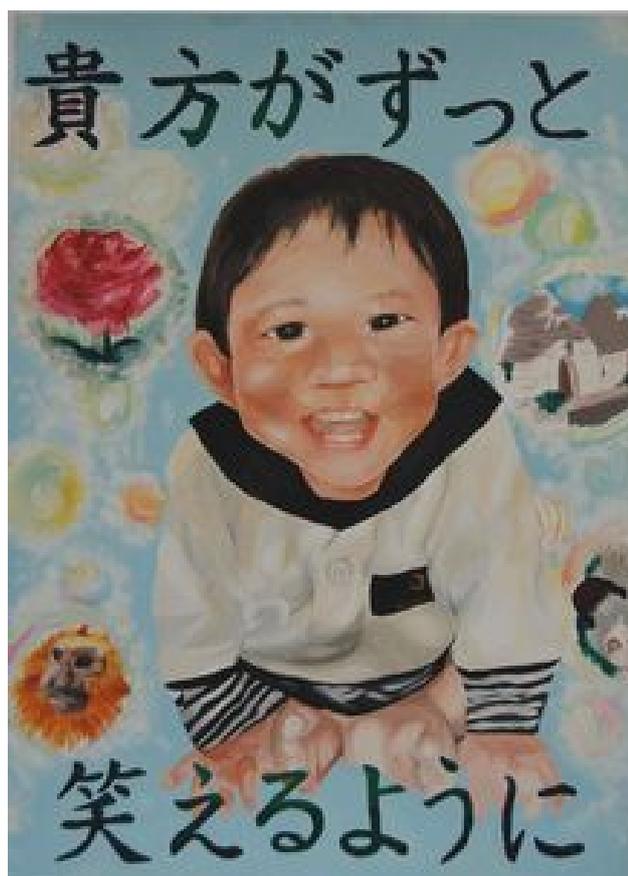
概要

- 1 日 時 平成20年8月28日（木）13時から15時まで
- 2 会 場 平和会館ホール
- 3 参加者 市内中学校生徒代表、引率教員、保護者等 約450名
（市立は全校、私立などは希望校）
- 4 内 容
 - (1) 市立中学校（2校）の発表
 - 長崎市立神浦中学校の発表（20分）
学校での平和学習の取りくみについて
 - 長崎市立土井首中学校の発表（20分）
学校での平和学習の取りくみについて
 - (2) 長崎大学教育学部 全炳徳 教授研究室ゼミ生発表（10分）
原爆投下前後のコンピュータ・グラフィックスの紹介
 - (3) 少年平和と友情の翼参加者代表の発表（25分）
沖縄研修を通して学んだことについて
 - (4) 青少年ピースボランティアの発表（25分）
青少年ピースボランティアの活動紹介
青少年平和交流事業の研修を通して学んだことについて

プログラム

平成20年度

平和学習発表会



日時 平成20年8月28日(木)
13:00~15:00

場所 平和会館

長崎市・長崎市教育委員会

平成20年度 平和学習発表会

日 程

開会あいさつ	13:00～13:05
長崎市立神浦中学校発表	13:05～13:25
長崎市立土井首中学校発表	13:25～13:50
長崎大学教育学部発表	13:50～14:00
(休息)	14:00～14:10
少年平和と友情の翼発表	14:10～14:35
青少年ピースボランティア発表	14:35～15:00

目 次

長崎市立神浦中学校	1
長崎市立土井首中学校	6
長崎大学(原爆投下前後のコンピューター・グラフィックス)	8
少年平和と友情の翼	10
青少年ピースボランティア	11

表紙のポスターは、昨年度の世界平和祈念行事実行委員会主催のポスター・標語展の中学生の部の優秀作品で、小ヶ倉中学校(当時)中野椋介さんの作品です。

本年度の平和学習の取組

～ふるさと長崎体験学習を中心に～

1 本校の概要



神浦中学校は、長崎市と西海市大瀬戸町との境目に位置し、夕方には校舎の三階からきれいな夕日と池島が見えます。学校の近くには大中尾棚田、日本百選の清流神浦川、また県民の森や神浦ダムがあります。このような豊かな自然に囲まれた地域で、1年生12名、2年生10名、3年生7名、全校29名の小さな学校ですが、仲良く楽しい学校生活を送っています。

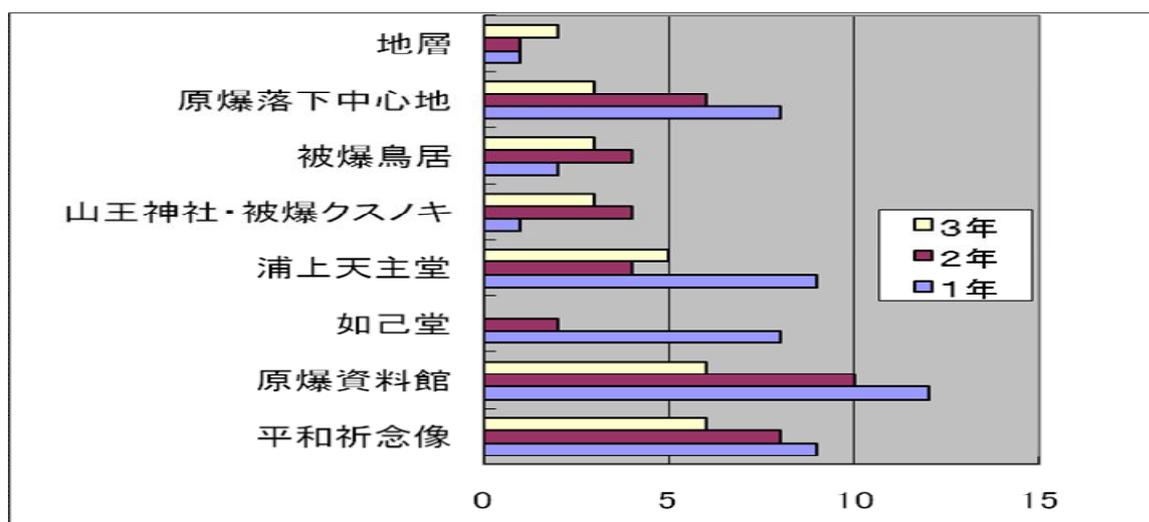
旧外海町が長崎市に合併されて3年がたちました。しかしこれまで長崎市内にある原爆資料館、その周辺や県美術館へは距離の関係でなかなか出向くチャンスがありませんでした。それで、これまでは毎年平和学習を行っても、被爆体験講話やビデオで出てくる場所がどんどこかイメージできず、わからないことも多かったのです。

しかし、今年は7月15日に長崎市の主催する「ふるさと長崎体験 推進事業」に参加することができました。被爆遺構巡りや県美術館での平和をモチーフにしたシルクスクリーン版画体験など、自分の目でたくさんのものを見て体験してみることで、話に聞くだけでは違う実感を得られた1日でした。また、平和案内人のガイドの方や美術館でのエドゥケーターの方との交流も意義深いものでした。

2 「ふるさと長崎体験事業」について

では、この「ふるさと長崎体験」でのフィールドワークの感想を発表します。フィールドワークのコースについては事前にアンケートを実施し、コースを検討しました。アンケートの結果、3年生では如己堂に行ったことがない、1年生は山王神社方面にいったことがないなどこれまでにいった場所が、学年により偏りがあることがわかりました。そこで、学年別のコースを設定してフィールドワークを行うことにしました。

下のグラフはこれまでに訪れたことのある被爆遺構のアンケート結果です。（横軸は人数）



感想：

原爆資料館・平和公園・原爆落下中心地・城山小学校・浦上天主堂について

○原爆資料館



現在、多くの国が核兵器を作っていると知り、悲しくてたまらなくなりました。どうして核兵器を持つのだろう？被爆した方々の苦しみや悲しみを外国の人にもわかってもらわなければ、と思いました。私たちが平和を訴え、この世から一刻も早く核兵器をなくし、2度と人々を悲しませてはいけないと思います。（1年 女子）

○平和公園



「平和の泉」のしぶきには、平和を表す鳥一ハトの「はばたき」という意味があることを知りました。また、平和公園には浦上刑務所の跡があり、建物ごと吹き飛ばされ、中にいた方は全員亡くなったと聞きました。

「平和祈念像」と「平和の泉」の意味を知って、世界中が平和であってほしいと思いました。何の罪もない数多くの人々の命を奪い、苦しめ続ける原爆を地球上からなくしてほしいです。

(1年 女子)

○原爆落下中心地



僕は63年前にタイムスリップしたような感覚になりました。

爆発の瞬間、爆心地の温度は3,000度に達しました。キノコ雲の下に、一瞬で影も形もなく消えていった方々が、僕が立っていた場所にいたのです。怒りと悲しみがこみ上げてきました。

原爆は絶対に許せません。(1年 男子)

○城山小学校



同じ年代の子どもたちがこんな悲惨なやり方で命を落としていたなんて、本当に悲しくなりました。亡くなった方々の未来は失われ、親から子、子から孫へと続くはずだった命のリレーもたった一瞬でとぎれてしまったのです。失われた人々の命、そして命のリレーで未来へ続くはずだった命を返してほしいです。

(2年 女子)

○浦上天主堂



爆風によって吹き飛ばされた鐘楼（しょうろう）ドームがありました。50トンの鐘楼が35メートルも吹き飛ばされたのです。当時はこの鐘楼が川をふさいでいたのですが、50トンもあるので動かすことができずに工事によって川の流れを変えたのだそうです。20年もかけて作られた浦上天主堂を、一瞬で破壊し、8500人の信者の方々を爆死させた原爆の恐ろしさを感じました。

マリア様の悲しい顔がずっと心に焼き付いています。この天主堂から平和への祈りが広がってほしいと思いました。 (2年 女子)

○県美術館でのシルクスクリーン体験

フィールドワークのあと、長崎県美術館へ向かいました。

まず美術館のエデュケーターの方と一緒にピカソなどの美術作品を鑑賞し、その後、シルクスクリーン版画を用いて、平和への願いをこめたマイバッグを作りました。

絵に込められたピカソのメッセージを知り、自分たちも平和をテーマにしたバッグをつくることで、いっそう平和を願う気持ちが強くなりました。



・音楽・絵・実像・文など、いろんなことで平和を訴えることができるんだとわかりました。 (1年 男子)

・午前中にフィールドワークで平和について学び、午後は自分の書いた平和の絵がバッグになってうれしかったです。 (3年 女子)

○平和集会での実践

平和集会の後半で、3年生が山里小学校に行ったとき、まるで天から降るように聞こえてきた調べを歌ってみることにしました。永井博士作詞の「あの子」です。

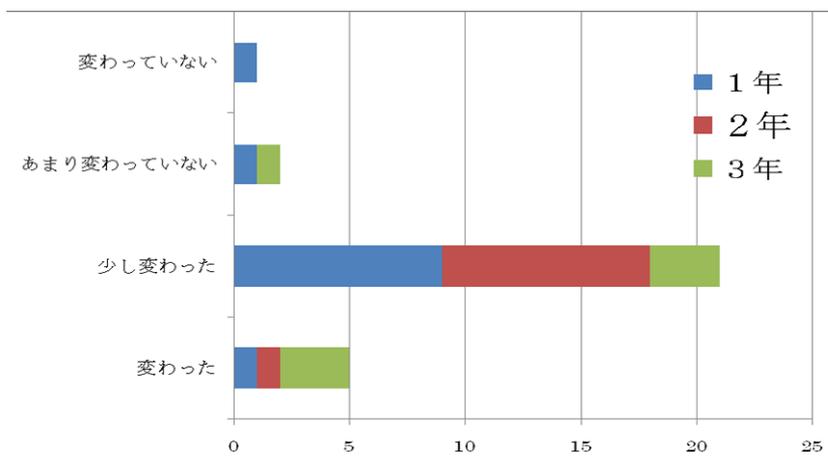
この曲の歌詞を全員で読み合わせ、味わったあとに歌を歌いました。



3 平和学習を通して、あなたはどう変わりましたか（集会後アンケート結果）

平和集会を終えて、アンケートと感想を書いてもらいました。

「今年の平和学習を始める「前」と集会後の「今」、平和についての考えが変わりましたか。」の質問では、このような結果がみられました。



4 これまでの平和学習をふりかえっての感想

・みんなの発表の中で、自分がやりたいことや、戦争は許せないなどとたくさん言っていて、私もそうだなとか、私もそうしていこう、と思ったことが多かったです。聞いていた人も真剣に聞いていたり、発表に対してうなずいていたり、とてもよかったと思います。そして、これからも平和についてしっかり考えていきたいと思います。

（3年女子）

・平和集会は、とてもよかったと僕は思いました。ふるさと長崎体験に行つての各学年の感想を聞いて、みんなたくさんのことを学んで、たくさんの気持ちを感じたと僕は思いました。そしてみんな平和に対する気持ちは一緒だと感じることができました。ほくも平和にするためにできることを考え、やっていきたいと思ひます。

（3年男子）

私達は、これからも長崎に起きた悲しい過去について学んでいきたいと思ひます。

学んだことをふりかえり、

「過去は変えられないけれど、平和な未来をつくるために、どうすればよいのかを」

一人ひとりが考えてほしいという願ひをこめて。

1. 本年度のテーマと目標 「戦争と平和」

- ・被爆から63年、被爆者や遺族は高齢化し、被爆体験の風化が叫ばれている今日、次の世代への継承の重要性を考えさせる。
- ・歴史に学んで、核兵器のない恒久平和の世界を祈念する心を育てる。

1年生の目標

- ・原爆や戦争の実態を知り、戦争の惨状や非人間性を感じとらせる。

2年生の目標

- ・長崎以外の都市や国の戦争の実態を知り、戦争の惨状や非人間性を感じとらせる。

3年生の目標

- ・現在の核の実態を知るとともに、戦争を風化させないために、何ができるかを考えさせる。

(1) 全校の取組

① 平和壁新聞やレポートの作成

「ナガサキ」→ 原爆, 平和運動

「日本」→ ヒロシマ, オキナワ, 戦後処理

「世界」→ アウシュビッツ, 核兵器, 平和活動

② 学年学習発表会



③ ピースキャンドル作成



保護者も15名ほど参加されました。

- ④ 被爆体験講話 ⑤ 平和標語の作成 ⑥ モーニング読書（戦争に関する資料）
⑦ 平和のパネル展

(2) その他の取組

- ① 被爆遺構めぐり ② 被爆体験者へのインタビュー ③ 近隣の小学校へのアンケート実施



「今まで平和学習をしてきたけど、平和案内人の方にお話を聞くのは初めてでした。おかげで今まで資料でしか読んだことのない遺構のこともとても詳しくわかりました。また、見たことのない遺構もたくさんあって、より深く原爆について知ることができました。長崎で起こったことをしっかりと知らなければ

ばならないと思いました。」～ 生徒の感想より～

(3) 平和集会

- ① 各学年代表の発表
 - ・ 平和標語の発表 (各クラス1名)
 - ・ 被爆講話を聞いての感想 (学年1人)
- ② 各学年代表の平和学習発表会
- ③ 羽ばたき隊の合唱 「青い空は」「この星に生まれて」

メンバーは2年生・3年生の選択音楽の生徒
様々な行事の時に羽ばたき隊が出演。
授業の他に昼休み等も練習を重ねている。

- ④ 生徒会による平和宣言文



標語の発表



学年の発表



羽ばたき隊の合唱

～ 土井首平和宣言より抜粋～

- 一、 私たちは思いやりをもち、学校からいじめや差別をなくします。
- 一、 世界の恵まれない子どもたちのために、ボランティア活動を続けます。
- 一、 命の尊さを考え、人や生き物、自然を大切にします。
- 一、 私たちは長崎・広島に原爆が投下されたことを決して忘れません。

戦争や原爆を風化させないために、私たちができること

戦争や原爆について

知ること

自ら

行動すること

先人の思いや願いを

感じることに

語り継ぐこと

たった1つの命だから…

原爆投下前後のコンピューター・グラフィックス

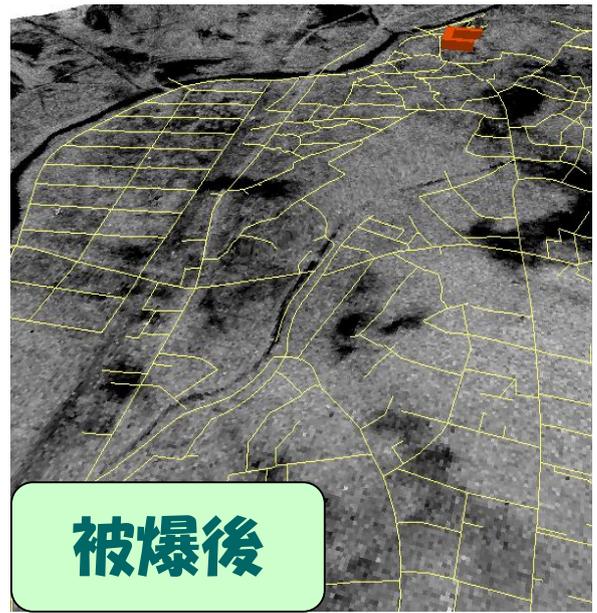
長崎大学教育学部 全炳徳教授 研究室

1. バーチャル空間を用いた平和学習

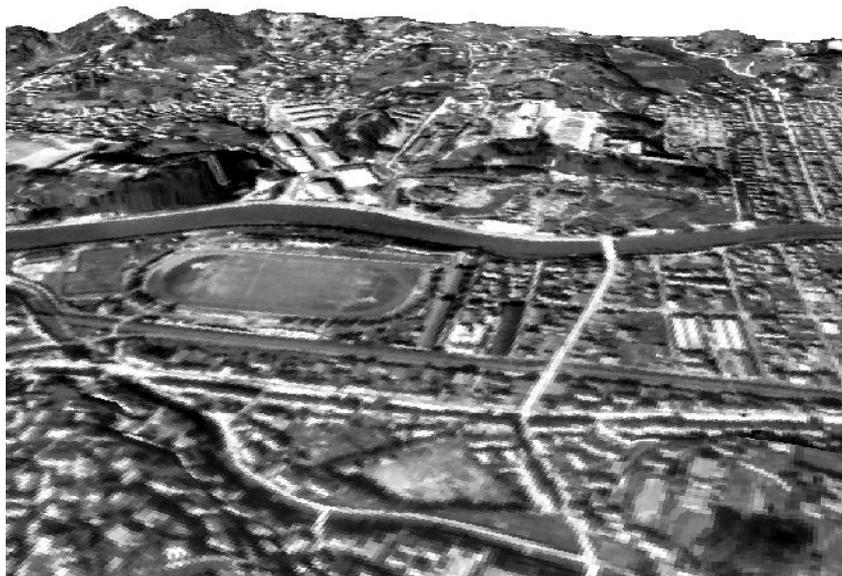
米軍により撮影された原爆投下前後の上空写真から、視覚的に戦争の被害と核兵器の威力の大きさを学ぶ。

2. 建物の被害

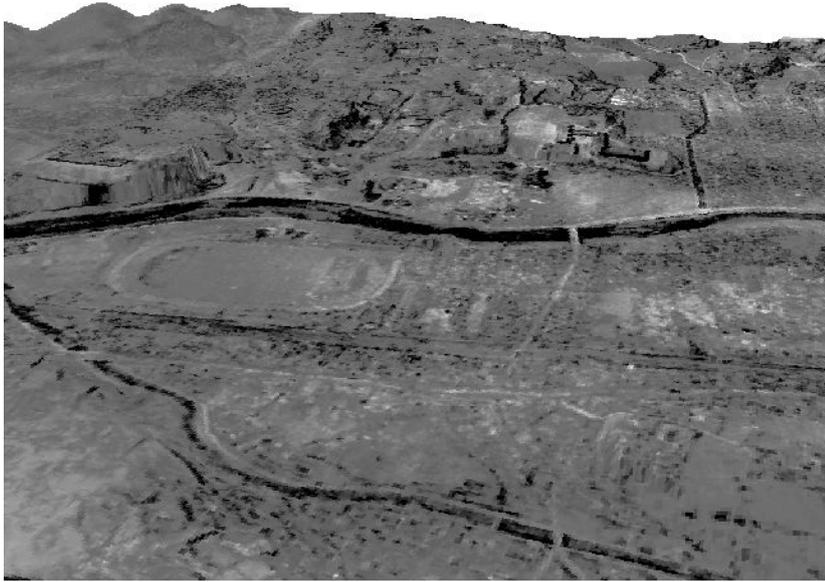
原爆後には、殆どの家屋が破壊されてしまい、コンクリートの建物だけが外形を留めている。



3. Google map 上に展開された原爆投下前後の長崎を、バーチャル空間で比較



1945年8月9日の原爆投下前の長崎，爆心地周辺の様子



1945年8月10日の長崎，爆心地周辺の様子

※Google Earth とは

Google 社が無料で配布しているバーチャル地球儀ソフト。

世界中の衛星写真を、まるで地球儀を回しているかのように閲覧することができる。



少年平和と友情の翼

1 事業概要

次代を担う青少年が集い、沖縄での研修・交流活動を通して、お互いの連帯と友情を深めながら、平和を愛する心の醸成を図ることを目的として平成8年度から実施している。

2 対象者

長崎県内に在住の中学生 26名

募集方法…公募（5月頃）

参加費…31,000円

3 研修内容（平成20年度）

(1) 事前研修 平成20年7月13日（日）

原爆資料館の見学、沖縄戦、見学施設等の事前講習会

(2) 沖縄研修 平成20年7月23日（水）～25日（金）2泊3日

7月23日（水）施設見学

対馬丸記念館、小桜の塔、旧第32軍司令部壕跡、
首里城の見学

ひめゆり学徒生存者の講話（那覇市泊）

7月24日（木）那覇市立真和志中学校の生徒との施設見学及び交流

平和祈念公園（沖縄県平和祈念資料館、平和の礎など）、
ひめゆり平和祈念資料館、糸数の壕の見学、
交流会（那覇市泊）

7月25日（金）おきなわワールド、グラスボート、国際通り見学



(3) 青少年ピースフォーラムへの参加 平成20年8月8日（金）・9日（土）

平和祈念式典にあわせて全国の自治体が派遣する平和使節団の青少年と一緒に平和の尊さについて学び、交流を深めました。

青少年ピースボランティア

被爆の実相や平和の尊さについて学び、伝えていくことを目的に活動しています。

毎年、8月8・9日に行なう「青少年ピースフォーラム」では、全国の小・中・高校生に被爆建造物等の案内やフォーラムの進行を行なうほか、長崎市の平和関連行事でのボランティアや平和についての学習会を行なっています。

また、参加者を対象に東京都・京都府・広島県・沖縄県への派遣研修を行なっています。

① 対象

15歳（中学校卒業以上）～30歳未満の青少年

《参加申込は随時受付しています。》



② 平成19年度の実施内容

種別	開催日	テーマ
平和学習	5/12(土)	オリエンテーション
平和学習	6/9(土)	被爆建造物等のフィールドワーク
	10(日)	
平和学習	6/23(土)	被爆体験講話
フォーラム準備	7/7(土)	青少年ピースフォーラム準備
フォーラム準備	7/28(土)	青少年ピースフォーラム準備
フォーラム準備	8/4(土)	青少年ピースフォーラム準備
フォーラム	8/8(水)	青少年ピースフォーラム（本番） （参加型平和学習の進行、フィールドワークのガイド） （平和祈念式典でのボランティア）
	9(木)	
平和活動	8/24(金)	平和学習発表会（長崎市の中中学生対象） 活動状況発表・司会
平和学習	9/29(土)	外国人の方との意見交換
平和活動	10/27(土)	国連軍縮週間中の「市民大行進」でのボランティア
平和学習	11/17(土)	穴弘法遺構巡り
平和学習	12/16(日)	大刀洗(福岡県)平和関連施設の見学
平和学習	1/19(土)	立山防空壕及び救護所メモリアルの見学
平和学習	2/9(土)	「被爆建造物等案内」練習会
まとめ	3/9(日)	1年間のまとめ・山頭範之(写真家)さんのお話

<活動の様子>



原爆資料館の見学



被爆建造物等のフィールドワーク



被爆建造物等のガイド練習



被爆体験講話



青少年ピースフォーラム



平和祈念式典でのボランティア

